

委員会活動報告書

委員長名 伊藤 美樹子

【委員会名】 編集委員会	
【メンバー】 ◎伊藤美樹子(滋賀医科大学) <査読担当> ○古島大資(鹿児島大学)、板谷智也(宮崎大学)、米澤洋美(石川県立看護大学)、川崎涼子(長崎大学)、高本佳代子(聖マリア学院大学)、石川祥子(鹿児島大学) <記事担当> 聲高英代(大阪歯科大学)、山本真理子(大手前大学大学院)、白片匠¥(滋賀医科大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 協議会の活動を記録し、会員校間で共有し、さらに国内外で公表するために、協議会誌「保健師教育」を編集し、発行することを目的とする。 2. 協議会誌「保健師教育」の投稿増加策について検討する。	
2025(令和7)年度	
達成目標	1. 機関誌「保健師教育」第10巻を発行する。 2. 機関誌「保健師教育」第11巻の発行のための編集業務を行う。 3. 機関誌掲載論文等のオンラインによる公開を管理する。 4. 投稿勸奨やオンライン公開について広報委員会との協議と連携を図る。
活動報告	1. 機関誌「保健師教育」第10巻の企画の立案と原稿の依頼を行った。 機関誌「保健師教育」第10巻の投稿論文の募集と投稿論文の査読者の選定、依頼、掲載の可否についての検討を行った。 2. 機関誌「保健師教育」第11巻のため、講演記事等の寄稿を依頼する。 機関誌「保健師教育」第11巻への論文投稿勸奨のための広報活動とJ-stage上での公開方法について検討を行った。記事を募集する。 3. 機関誌「保健師教育」第10巻の各種収録原稿の校閲、校正を行った。 4. 対面による編集会議を12月に開催した。加えて、適宜、メール会議を行った。 前編集委員会からの検討課題であった二重投稿への対応について、研究倫理的上の課題を共有し、投稿規程の改訂についても検討を進めることとした。 機関誌「保健師教育」の閲覧性およびアクセス数向上に資する具体的施策(掲載方法の最適化、リンク導線の整理等)について検討を行った。 機関誌掲載論文の閲覧促進を目的として、J-STAGE(科学技術振興機構)および全保教ホームページ上での公開・導線の改善に関する見直し案を理事会に提案し、必要経費の予算化を実施した その他、「保健師教育」の論文募集について、広報・国際委員会によるメールマガジンにて、早期の案内活動を実施する計画を立案した。